令和元年度　第２回 金沢市介護保険運営協議会	資料４
令和２年２月２５日	

生活支援コーディネーターの活動状況について

１　生活支援コーディネーター

（１）設置目的

全市域（第１層）及び本市が定める日常生活圏域（第２層）ごとに、関係者のネットワークや既存の取組・組織等も活用しながら、コーディネート業務を実施することにより、地域における生活支援等サービスの提供体制の整備を推進することを目的とする。

（２）役割

〈１〉生活支援の担い手の養成、サービスの開発・・・・・・・第１層、第２層
〈２〉サービス提供主体等の関係者のネットワーク化・・・・・第１層、第２層
〈３〉地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチング・・・・第２層

２　活動状況

（１）地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起（役割〈１〉〈２〉）

①お宝探しワークショップ（身近な支え合い活動の発掘）の開催

地域住民の暮らしの中に潜在する日常の「つながり」や「支え合い」を「地域のお宝」として掘り起こし、見える化することで、介護保険サービスとお宝を組み合わせた皆で支え合う地域づくりを目指すもの。

平成30年度（10地区延べ12回開催）
令和元年度（６地区延べ７回開催）令和２年１月末現在

②地域支え合い百万石通信（つどいの場の情報発信）の作成

平成30年度　No.1.～No.75
令和元年度　No.1.～No.20　令和２年１月末現在

③地域包括支援センター各圏域つどいの場　Google mapの作成

19圏域ごとのマップにより、見える化を図る。

（２）目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一（役割〈１〉〈２〉）

８つのブロック毎に地区社協・地区民児協及び地域包括支援センター間の情報交換の場を設け、相互の連携を密にし、地域資源の情報共有や地域課題について協議し、地域課題の解決に向けた取り組みを推進するもの。

各ブロックで協議した議題

①災害に対する町会と民生委員との協力体制～各地区の要支援者マップの紹介～
②地域で孤立している方への対応と課題
③高齢者福祉保健台帳・避難行動要支援者名簿の共有範囲
④マンション・アパート在住高齢者等の地域参加を促すための取組み
⑤買い物（移動）支援の現状と地域でできること　等

（３）地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ（役割〈１〉〈２〉）

元気な高齢者をはじめ、住民が担い手として参加する住民主体の活動、社会福祉法人、地縁組織、民間企業等の多様な主体による多様なサービスの提供体制を構築し、高齢者を支える地域の支え合いの体制づくりを推進するための働きかけ。

各地区地域福祉座談会等の開催
平成30年度　88回　のべ1.684人参加
令和元年度　97回　のべ2,333人参加　令和２年１月末現在

（４）関係者のネットワーク化（役割〈２〉）

①生活支援体制整備事業連絡会の開催

平成30年度　３回　　令和元年度　３回　令和２年１月末現在

②地域包括支援センターとの連携

（ア）各地域包括支援センター運営懇談会への参加
平成30年度　37回　　令和元年度　38回　令和２年１月末現在
（イ）センター長会議、地域ケア会議部会への参加
平成30年度　６回　　令和元年度　４回　令和２年１月末現在
（ウ）地域ケア会議などへの参加　等
平成30年度　18回　　令和元年度　20回　令和２年１月末現在

（５）生活支援の担い手の育成やサービスの開発及びニーズとサービスのマッチング（役割〈１〉〈３〉）

①地域における支え合いの推進

令和元年度、市内54地区中38地区において、地区のニーズ把握や地域でのボランティアを組織化するなど、地域見守りネットワークの体制づくりを推進するもの。

②フォーラムの開催（平成30年度、令和元年度）

生活支援フォーラム2019×地域のお宝発表会　等　計６回

③社会福祉法人による地域貢献活動情報交換会の実施

令和元年度　18回

３　今後の活動について

（１）引き続き多様な主体と連携し、市内全域で支え合いの取り組みを進めていく。
（２）ケアマネジャー等に地域の支え合いによる活動を広く周知し、地域包括ケアシステムの充実と高齢者の生活課題の解決につなげていく。